明科いいまちつくろうかい!! 編集・発行

回覧

# 明科いいまち通信

いいまち通信は、WEBでもご覧いただけます。▶

http://akashina.net/localinfo/newslisi

No. 81

安曇野市明科中川手６８２４番地１
明科支所：☎62-3001　／　明科公民館：☎62-4605

令和６年１月 18 日 発行

## 今月の明科の団体紹介

今回は **NPO 法人森倶楽部２１** です

理事
根村　亨

『ＮＰＯ法人森倶楽部２１』は、自然環境保護と持続可能な地域社会の発展に向けて、約 20 名の会員と地域住民の協力により長峰山の山頂付近を中心にした里山整備活動を行っている団体です。

活動は、里山の自然を通じて人々が学び合い、私たちの暮らし方を見直し、この素晴らしい里山を後世に残すための想いから行われています。人々の生活がどんどん便利になり、里山の資源を利用せずとも日々の生活が成り立つようになりました。このため、身近な里山は資源の利用が減少し、藪が生い茂り、鬱蒼とした暗い森に変わりつつあります。里山は単に人々の生活を支えるだけでなく、多くの生物を育んできました。そのため、環境の変化により絶滅の危機に晒される生物も多く見られます。

森林整備活動

草原維持の活動

森倶楽部２１は、こうした里山の現状を広く知っていただき、上手に里山を活用し、保全していくため様々な活動を行っています。環境保全活動では、環境に適した森づくりや貴重な山頂草原の定期的な維持のための草刈りなどを行っています。また、環境教育活動を通じて学校の授業や遠足を支援し、森の資源を最大限に生かすための林産物活用活動も行っています。更には地元の矢ノ沢地区の方々との交流を通じて、里山での知恵なども学んでいます。

環境学習の様子

森倶楽部２１では、ミニ自然観察会や野鳥観察会、森林浴などさまざまなイベントを開催しています。ミニ自然観察会は４月から 11 月の第３日曜日の 13:00 に定期活動として実施されています。事前準備は不要で、専門家の説明がついていますので、気軽にご参加いただけます。

地域交流（矢ノ沢の住民の方と三九郎）

その他のイベントは不定期開催となりますが、開催が決定次第、H.P 上で告知されますので、興味のある方は“森倶楽部２１”を検索してみてください。

また、森倶楽部２１では随時会員を募集しています。紹介した各活動にはプロフェッショナルが在籍しており、経験がなくても安心して参加できます。『楽しく作業する！』がモットーですので、長峰山の現場でも H.P でも結構です。お気軽にお声掛けください。

ホームページ　https://mori21.com/

# 明科コラム「長峰山は明科の宝だ」

明科いいまちつくろうかい!! 会員 横田 耕太郎

『長峰山からの景観 ― そして意味するもの』　以前、明科いいまち通信に寄稿された、故西村永明氏の文章には、今では地元の人も長峰山と呼ぶが以前は山頂のことを「三角点」と呼んで親しんでおり、西村氏もこの山をもじってあえて「ながめやま」と呼んでいたそうだ。今でも展望台に置かれているノートの表紙に「ながめやま」の字を見る事が出来る。その言葉の通り、山頂からは目の前に日本を代表する 3000m 級の北アルプス、湧き出る水によって形成された複合扇状地に広がる安曇野の眺めが一望できる。そして、安曇節の一節に「槍で別れた梓と高瀬　めぐり逢うのが押野崎」とうたわれる三川合流地の様子が手に取るようにわかる。

この水の流れが集まる場所に位置するのが明科だ。

林道が閉鎖となる冬期を除いて車で容易にこの山頂を訪れる事ができるが、四季を通して自分の足で登る事こそこの山の本当の魅力を感じる事が出来ると自分は思う。多くの人が歩く長峰荘からのコース、そして雲龍寺からのコースは木々の間から見える明科のまちなみ、遠くに後立山が見える景観は木々が葉を落とす晩秋から早春がお勧めだ。もちろん 1000m を越えない里山とは言え、冬は道が凍るので装備はそれなりに必要ではあるが、自分の足で頂に立った時の満足感は何ものにも代えがたい喜びだ。

グリーンシーズンには隣の光城山とともに多くの人が歩いて訪れる。小さな子供を連れた家族や、最近では外国人の姿も多くみられるが、一方で近年激しさを増す気象現象により遊歩道（登山道）の崩壊も深刻である。激しい雨により洗堀されてガリ―と呼ばれる深い溝が形成される事により、特に急斜面は歩行が困難なだけではなく危険すら感じさせる状況であった。自然保育に通っている園児には「地獄坂」と呼ばれているそうだ。

当地は脆い地質のため崩れやすく、過去、何度か補修が行われているが、継続的な保全にはつながっていない。このような状況を鑑み、登山ガイドや長野県自然保護レンジャーを中心に『安曇野山守隊』が結成され、2023 年６月から保全作業をボランティアで開始した。チーム名は『近自然工法』という保全作業の方法に由来する。先進的に活動している大雪山山守隊の方から指導を受けた方や北杜山守隊に参加しているメンバーも加わった。まだ始まったばかりであり効果のほどは不明だが、経過を見ながら継続していく予定である。

ところでアルプスの眺望が魅力の西側ばかりに注目が集まりがちだが、北から東側には文化や歴史が詰まっている。清水地区にある創建が鎌倉時代以前と思われる光久寺、戦国時代には明科地域では最大の山城である塔原城がある。清水地区には春のお彼岸に藁人形を作って災いをよける風の神祭りが残っている。その清水地区から山頂にいたる道が、清水地区里山整備協議会とＮＰＯ法人森倶楽部 21 の手によって整備されつつある。

里山の豊かな生物多様性が息づく長峰山。山頂草原は地元住民や関係者が定期的に草刈りを行う事で守られている。草原の環境に適応した多様な生物が息づいている山頂からの安曇野の眺望。昭和 45 年にこの地を訪れた歴史的な著名人、川端康成、井上靖、東山魁夷の三氏の言葉を私たちは忘れてはならないと思う。

「残したい静けさ美しさ」

「五月の若緑に蔽われた安曇野はなんと美しかったことか上高地から流れ出る梓川が高瀬川と合流し犀川となって北に流れる平野の上に高く連なる北アルプスの山々　常念、東天井、燕と長峰山の上で案内人の指し示す残雪の嶺々を仰ぎながら飽かず眺めたひとときが忘れられない」（東山魁夷 安曇野を想う）

# 明科公民館からのお知らせ 明

あかしなこうみんかん

3月 March　Akashina　1月 January

イベント等の詳細については、
**明科公民館(☎62-4605)**までお問い合わせください。

## 新春コンサート
## ～筝と尺八のしらべ～

初春のひとときを筝、三弦、尺八の演奏でお楽しみください。

**日　時：** 1月26日(金)　午後2時～3時30分
**場　所：** 明科公民館　講堂
**奏　者：** 有賀 雅栄さん(筝、三弦)
小沢 雅美穂さん(筝、三弦)
原　靖堂さん(尺八)
**曲　目：** ザ・コキリコ、春の夜他
**参加費：** 無料　　**申込み：** 不要

---

明科生活・文化講座　第2回

## ～明科地域の神社の沿革～

古くから明科地域にある藤城社、荻原神社などの歴史、祭りや信仰などの特徴を学びます。

**日　時：** 2月5日(月)　午前10時～正午
**場　所：** 明科公民館　講堂
**講　師：** 巻山　圭一さん
（元明科高校校長）
**参加費：** 無料
**申込み：** 不要

---

明科生活・文化講座　第2回

## ～明科地域の寺院の沿革～

古くから明科地域にある龍門寺、雲竜寺などの歴史、特徴、宗派などについて学びます。

**日　時：** 2月20日(火)　午前10時～正午
**場　所：** 明科公民館　講堂
**講　師：** 大澤　慶哲さん
（給然寺住職）
**参加費：** 無料
**申込み：** 不要

---

## ～冬の歌声ひろば～

アコーディオンの演奏にあわせて、懐かしい歌謡曲、唱歌を歌いましょう。

**日　時：** 2月8日(木)　午後1時30分～3時
**場　所：** 明科公民館　講堂
**奏　者：** 柴田　勲さん
**曲　目：** スキー、雪の降る街を、神田川　他
**参加費：** 無料
**申込み：** 不要

---

## スマホなんでも相談室

スマホの基本的な操作、アプリの使い方などについて、個別に説明します。

**日　時：** 2月15日(木)　午前10時～正午
**場　所：** 明科公民館　講堂
**講　師：** 公民館職員
**定　員：** 15名（先着順）
**参加費：** 200円
**持ち物：** お使いのスマホ
**申込み：** 2月5日(月)、6日(火)に電話でお申し込みください。

---

いいまちサロン 第118回

**いいまちつくろうかい2月例会**

## ～篠ノ井線の歴史と廃線敷の見どころ～

篠ノ井線の変遷と明科・西条間の新線に至る経緯などについて学びます。

**日　時：** 2月27日(火)　午後1時30分～3時
**場　所：** 明科公民館　講堂
**講　師：** 矢花　和成さん
(元高校教諭)
**参加費：** 300円
**申込み：** 不要

# 新年のご挨拶

明科いいまちつくろうかい！！　代表　浅見　郁子

皆様、新しい年を健やかにお迎えになられました事、お慶び申し上げます。
昨年の「明科いいまちつくろうかい！！」諸活動へのご協力に心から感謝申し上げます。
年の初めの祝いの日に起きた能登半島地震で被災された皆さんは、寒さも加わって本当に大変であると胸が痛みます。心からのお見舞を申し上げます。
さて、「明科いいまちつくろうかい！！」の活動も、会員の高齢化等で思うようにいかなくなってきていますが、生きがいづくりとも合わせながら新たな気持ちでスタートしたいと思います。
今後の活動の中身を記させていただきますので賛同して下さる方は、自身の生きがいづくりの一環としてご参加しませんか？

○昨年はコロナが第五類に移行したことを受けて、念願であった地域の子供たちを対象にした夏休みの宿題お助けと私たちの手作りの昼食会食を通して交流会を実施しました。退職された先生方のご協力をいただき、夏休みの思い出に残る体験ができたことと思います。今年も中身を精査・継続して会食・交流を深めたいと思います。

○「平和への祈りを込めて」の取組みです。昨年は、松代大本営の歴史的事実の講演会、満州からの引き上げの実体験語り等で明科地域にとどまらず、全市・他市からの参加もあり、平和を願う皆さんと交流ができ意義のある会となりました。平和な日本を守り続けることを皆で確認しあい、今自分にできることを継続していかれるよう今後もこの活動は大事にしていきたいと思います。

○明科再発見ウォーキングの担当企画として実施している「古地図片手に明科散歩」です。安曇野案内人クラブとの共催で開催していますが、毎回、遺跡を目の前にしながら詳細に案内して頂き、明科地域の歴史遺産の豊富さを再認識しています。明科の歴史を何らかの形で明科の魅力に繋げていかれたらと思います。

○明科高校生との交流です。うまいもん市には自主的に活動に取り組んでいただきました。高校生がまちづくり委員会の皆さんと一緒に地域の諸活動に参加してくださいます。今年は、お楽しみ交流会にも参加して頂いて交流の輪を広めたいと考えています。

○明科いいまち通信の発行です。すでに第 80 号まで発行し、歴史ある地域情報誌として親しまれています。日頃感じているまちづくりへのご意見等も掲載できると紙面を通しての意見交換にもなるのでは無いかと考えています。

以上活動の一端をご紹介しました。明科地域の他団体とつながりながら、明科の過疎化がこれ以上進まないことを願い進めて参りたいと思います。

## 地域おこし協力隊員が着任しました！

明科の皆さん、初めまして。地域おこし協力隊の隊員として着任しました瀬戸と申します。この地域おこし協力隊では特に明科を中心として、もっと安曇野を盛り上げよう！という事でやって参りました。
2024年の3が日過ぎてから、改めて明科を回りまして、きれいな景色や温かい地域の方々に出迎えていただき、いよいよ活動ができることにワクワクすると共に、もっとこの明科の良さを知りたいと思いました。私は色々な方とお話をするのが好きで、この明科の地でも地域の皆さんと一緒に話し合い、色々な話を聞きながら、明科に住む人にも地域外から来られる方にも、今より更に愛され盛り上がる地となるよう活動していければと思っています。もし明科で私を見かけましたらお気軽に声をかけてください！

青年海外協力隊で活動していた頃

## 編集後記

・年明け早々地震や飛行機事故が相次ぎ、「おめでとう」のことばもはばかられる新年になりました。ふと正月はめでたいのかな?と改めて考えてしまいます。「冥途の旅の一里塚」なんて一休さんも言ってたように 1 年ごとに冥途が近づきますから・・・災害に遭われた方のことを思い、世の無常をつくづく感じるこの頃です。(や)

・最近ふと気が付くと心の中で歌っている曲があります。それはKANさんの「愛は勝つ」です。私が学生の頃流行った曲でテレビ等よく流れていました。当時は何気に聴いていましたが改めて元気を与えてくれ、多くの人を励ましてくれる名曲だと思いました。(あ)

## いいまち通信の掲載記事を募集します

明科いいまち通信へ掲載する記事を募集いたします。なにか発信したい内容などがありましたら、是非ご投稿ください。

**募集内容**　住民のみなさまからの記事・文章・写真・俳句・ご意見など
**投稿要項**　・投稿する際は必ず**氏名・住所・連絡先を記載してください**。
・記事内容は、明科いいまち通信編集会議で検討いたします。
**投稿方法**　①明科支所（明科中川手 6824-1）へ持ち込む または
②Ｅメールで送る ⇒ akashina-shisho@city.azumino.nagano.jp
**お問合せ**　明科いいまち通信編集担当（TEL:62-3001　FAX:62-4747）